チェルノブイリ子ども基金

チェルノブイリ原発事故被災地の、病気の子どもをもつ母親たちの呼びかけを受け募金活動を始めたのをきっかけに、1991年4月に設立。これまでに医療機器、医薬品、ミルク、教材、放射線検知器のほか、救援物資を被災地に送っている。1996年7月から毎年、ベラルーシとウクライナのチェルノブイリ事故被災地の病気の子どもたちのための保養プロジェクトを行っている。







◆日本の里親による支援◆

一人の病気の子どもを、日本の里親が経済的に支える。1998年の開始から、これまでに 333人、 現在は51人の子どもが日本の里親から支援を受けている。



マルガリータ (2012年生まれ) ベラルーシ



サーシャ (2018年生まれ) ベラルーシ



ワレーリヤ (2006年生まれ) ウクライナ



ヴラッド (2010年生まれ) ウクライナ



ミーシャ (2014年生まれ) ベラルーシ



ダニール (2015年生まれ) ベラルーシ



ウラディスラフ (2004年生まれ) ウクライナ



ボグダーナ (2002年生まれ) ウクライナ

ウクライナ ジトーミル州ナロジチ地区の家族 たち









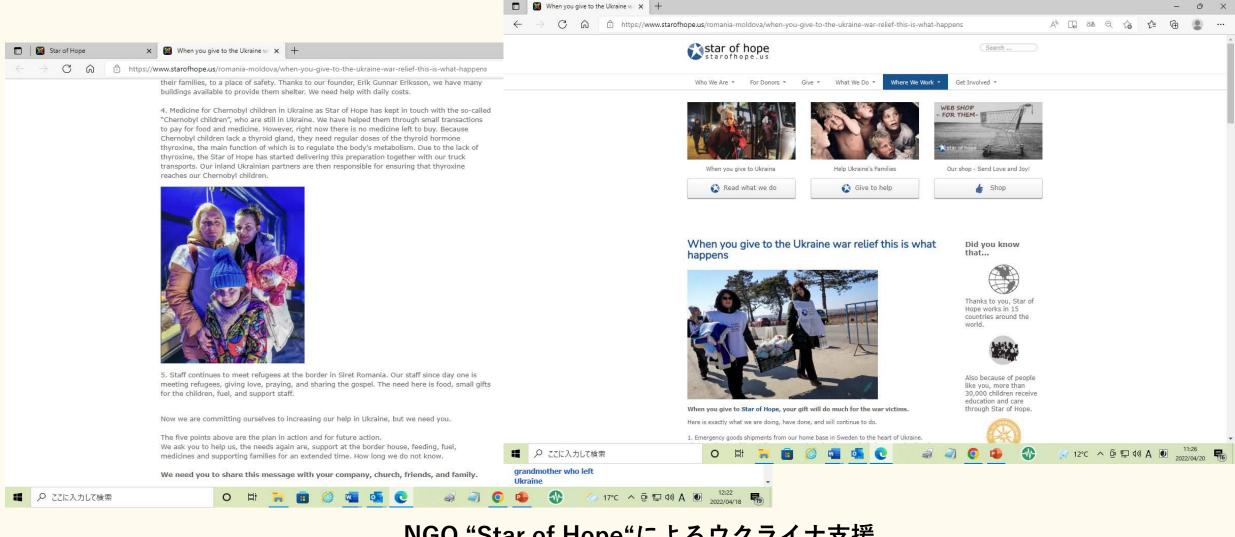
ウクライナ「内分泌代謝研究所」 甲状腺がんの手術を受けた患者への医薬品支援

甲状腺がんの手術を受けた患者、6,242人が登録 (2021年1月時点)。 そのうち、チェルノブイリ事故当時子どもだった世代の患者は 4,214人。

■写真上:ヴィクトリヤさん(1983年生まれ) 38歳で手術を受けた。

■写真下・右:ナタリヤさん(1977年生まれ) 31歳で手術を受けた。

チェルノブイリ子ども基金のシールが貼られた甲状腺ホルモン剤を受け とった。 撮影 2022年2月4日



NGO "Star of Hope"によるウクライナ支援

- 1. ポーランドを経由した現地への物資輸送
- 2. ルーマニアを拠点にした現地での難民支援
- 3. 難民のスウェーデンへの受け入れ
- 4. ウクライナ国内の「チェルノブイリの子どもたち」への医療支援



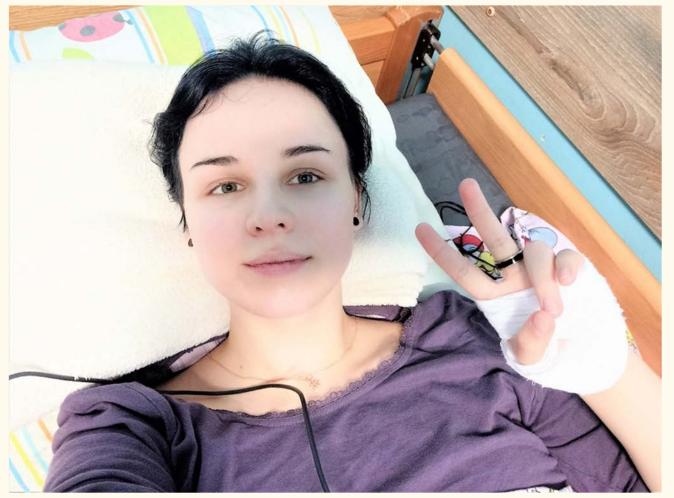


子どもの頃に甲状腺がんの手術 を受けた人とその家族たちへの 支援





ウクライナ国外へ避難した人





ウクライナ国外へ避難した人









◆ウクライナ 放射線汚染地区に住む病気の子どもたちのための保養子ども保養施設「ドルフィン」 ウクライナ・ヘルソン州2021年8月6日~8月16日 参加人数37人(6歳~14歳)